

進めよう!

Part3

高知のキャリア教育

実践事例編

キャリア教育推進地域事業 (香美市・須崎市・宿毛市)

高知県では、平成25年度から平成27年度までの3年間、香美市・須崎市・宿毛市をキャリア教育推進地域に指定し、学校と地域が連携したキャリア教育の研究に取り組んできました。

このパンフレットには、地域で取り組むキャリア教育について、各地域の実践事例を掲載しています。学校や地域で取り組むキャリア教育を実践する際に活用するなどして、各校のキャリア教育を充実させましょう!



「高知のキャリア教育」Part1には、全体計画や年間指導計画の作成・見直しのポイント、キャリア教育の理解を深めるQ&Aを掲載しています。自校のキャリア教育の計画等を充実させるために活用しましょう!



「高知のキャリア教育」Part2には、キャリア教育の視点を取り入れた授業づくりのポイントや年間指導計画の効果的な活用について掲載しています。自校のキャリア教育を見直す際に活用しましょう!



平成28年3月
高知県教育委員会

香美市の取組

よってたかって地域が育てる教育 ～香美市のキャリア教育～



キャリア教育の概要

◆香美市のキャリア教育

- 香美市では、「教育を通して、地域の核・支えとなる人を育てたい」という理念のもと、主体的に学び、確かな学力を身に付け、社会を生き抜く力をもった人を育てることをめざして、キャリア教育に取り組んでいます。
- 実施にあたっては、香美市の教育資源を活用し、家庭・地域と協働しながら、夢を育み新たな価値を創造する人づくりを目指しています。
- 「よってたかって地域が育てる教育」というキャッチフレーズには、家庭も学校も地域も一緒になって子どもたちを育てていくという願いが込められています。
- 高知のキャリア教育の3つの柱「学力向上」「基本的生活習慣の確立」「社会性の育成」の視点を基に、教育実践に取り組んでいます。

地域

学校

家庭

◆研究推進校

香美市立舟入小学校	香美市立山田小学校
香美市立楠目小学校	香美市立片地小学校
香美市立香長小学校	香美市立大宮小学校
香美市立大柵小学校	香美市立鏡野中学校
香美市立香北中学校	香美市立大柵中学校

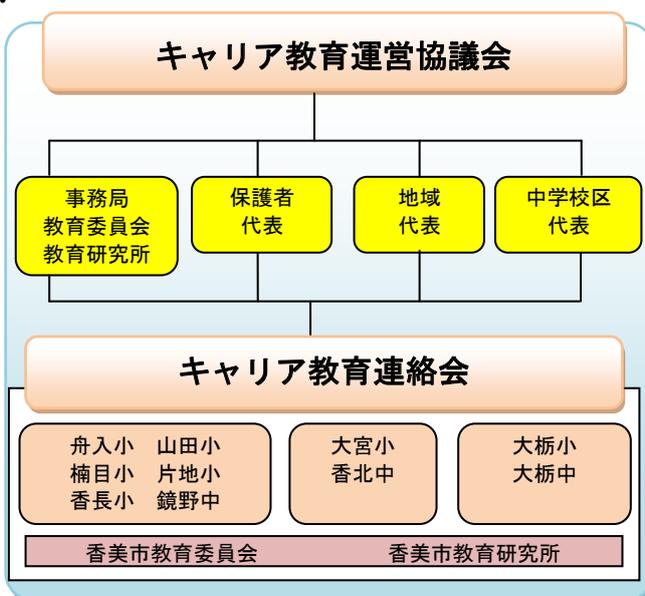
◆よってたかって・・・

- キャリア教育を地域と一体となって進めるために、保護者や地域の方に「キャリア教育」という言葉に親しみをもってもらうことが大切だと考えました。
- キャリア教育運営協議会や地域の方と、キャリア教育に名前をつける会（ネーミング会）を実施しました。
- こうして、「よってたかって地域が育てる教育～香美市のキャリア教育～」が誕生しました。

ネーミング会 WS



地域で取り組む推進体制づくりの事例



香美市では、「キャリア教育運営協議会」と「キャリア教育連絡会」を立ち上げて、キャリア教育を推進しています。

◆キャリア教育運営協議会を開催しています！

- 地域の方や学校関係者で構成しています。
- 香美市全体のキャリア教育の在り方について協議をします。
 - ・開催回数 3回（年間）
 - ・協議内容 活動計画の検討
ワークショップ
中間検証
実践報告等

◆キャリア教育連絡会を開催しています！

- 各学校のキャリア教育担当者で構成しています。
- 各学校のキャリア教育について協議をします。
 - ・開催回数 6回（年間）
 - ・協議内容 全体計画・年間指導計画の見直し
実践内容の検討
情報交換等



各学校の実践をもとに協議をし、香美市全体で共有を図っています。
(キャリア教育連絡会)

キャリア教育の進め方の事例

◆PDCAサイクルでキャリア教育に取り組んでいます。

香美市では、子どもの現状把握→課題の洗い出し→目標設定→課題解決→成果検証のPDCAサイクルで、教職員全員がキャリア教育に取り組んでいます。

P

◆子どもの現状把握→課題の洗い出し

○学力向上・基本的生活習慣の確立・社会性の育成の視点で児童生徒の課題を洗い出すとともに、アンケート調査等の結果から見られる課題を共有しています。

◆目標設定

○課題解決のために必要な基礎的・汎用的能力について学校全体で検討し、共有を図っています。
○基礎的・汎用的能力の育成の視点に基づいて目標を設定しています。

D

◆課題解決

○取り組む視点を設定しています。

<取り組む視点>

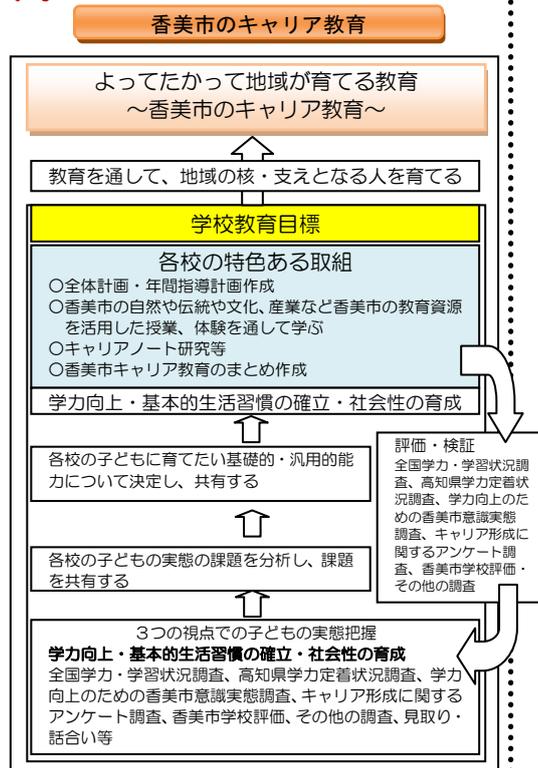
- ・内発的動機付け
- ・児童生徒の発達段階の考慮
- ・各校の特色を生かした教育実践
- ・家庭・地域との連携

C

◆成果検証

○各種調査結果を基に、子どもの変容を把握し、取組に対する評価検証を行い、改善を図っています。

A



15年間を見通した「めざす子どもの姿」

◆15年間を見通したキャリア教育の実践に取り組んでいます。

○香美市では、子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育に取り組むために、0歳から中学校卒業までの、15年間を見通した指標『めざす子どもの姿』を作成しています。

○体系的なキャリア教育に取り組めるように、教員研修で理解を深めています。

○授業では、指導案に指標を位置付け、教員が育てたい力を意識して指導しています。



◆香美市ふるさとプログラムを開発しています。

○ふるさとに愛着をもち、郷土を誇れる子どもを育てるために、香美市の教育資源を生かした「香美市ふるさとプログラム」を開発し、教育実践に取り組んでいます。子どもたちは、体験活動を通してそれぞれの地域の良さを学んでいます。

◆龍河洞ふるさとプログラム（片地小）

4年生では、地域の教育資源である龍河洞を教材に学習をしています。市内全小学3年生の龍河洞訪問の際には、観光ガイド役を担っています。





キャリアノートの開発・活用事例

児童生徒が学習や生活をキャリア教育の視点で振り返ることができるように、香美市共通版・各校独自版のキャリアノートを作成しています。各学校では、体験活動後や日々の学習、毎学期末等で活用しています。

◆香美市共通のキャリアノートを作成しています。

児童生徒に実施した、キャリア形成アンケート結果から、市全体の課題を洗い出し、身に付けさせたい力を明確にした香美市共通のキャリアノートを作成しています。各学校では、学校の実態に応じて修正しながら、学期を振り返る際に活用しています。

「いまのわたし」	達成度	振り返り	達成したいこと・目標・課題
自分のふるさとが好きだなと思う	<input type="radio"/>		お土産を買ってほしい。
自分のことが好きだなと思う	<input type="radio"/>		たまにきつくていじまわす。
自分が正しいと思うことは言える	<input type="radio"/>		あまりいない。
地域の行事や活動に参加している	<input type="radio"/>		ちゅうちんあつめがやとま会にいらしている。
人の役に立つ人間になりたいと思う	<input type="radio"/>		こまにいらんかいたがたすけてあげたい。
話術の人になつたらいいと思う	<input type="radio"/>		金たすけの人のかたすけにいらすのであつて。
簡単な作業に応じた言葉を使うことができる	<input type="radio"/>		お上の人にばげいごを使っている。
規則・ルール・約束を守るようにしている	<input type="radio"/>		たまに、もうおまを、てしあま。
自分には、よいところがあると思う	<input type="radio"/>		あまりない。
失敗をしたときは、なぜ、失敗したのか考えようとしている	<input type="radio"/>		どうも考えても自分からなかつたら先生に聞いている。
失敗をおそれずに挑戦している	<input type="radio"/>		失敗したらいやなので挑戦してない。
分からないことそのままにせずに進んで調べたり、誰かに聞いて聞いている	<input type="radio"/>		友達や先生に聞いている。
将来の夢や目標を持っている	<input type="radio"/>		一つかあるけれど将来の夢を、持っている。
学年が上がったら、積極的にやりたいことがある	<input type="radio"/>		英語をもっと勉強して将来のためにいけたい。
自分ほどんごことが得意であるか知っている	<input type="radio"/>		得意なところがある。

実践例
舟入小

「いまのわたし」（香美市共通キャリアノート）を年2回実施
基礎的・汎用的能力に、郷土愛や自己肯定感の項目を加えて1年間の成長を振り返っています。

困っている人がいたら、助けてあげたい。
【かかわる力】

英語をもっと勉強して、将来のために生かしたい。
【かなえる力】

◆各学校の特色を生かしたキャリアノートを作成しています。

各学校では、学校の特色に応じたキャリアノートを開発して、児童生徒の振り返りの際に活用しています。

実践例
舟入小



学校行事を実施する前に、どんな力を身に付けるのかを児童生徒と担任で共有してから、具体的なめあてを立てています。その結果、目的意識をもって学校行事に取り組むことができるようになってきました。

実践例
香長小



学期末の振り返りカードの項目を通知表に記載し、振り返りカードの自己評価と通知表の先生からの評価を比較できるようにしています。先生の評価と比較することで、自分の成長を客観的に分析することができます。



- キャリアノート専用のファイルを用意している学校もあります。
- ファイルには、子ども自身が成長を実感できるとされる成果物も綴じ、次の学年へ持ち上げるようにしています。
- 蓄積した6年間の歩みから、自分自身の成長を振り返ることができます。

キャリア教育の視点を取り入れた授業実践例

実践例
片地小

生活科（2年生）「かた地なかよしたんけんたいⅡ かた地家の“じまんのなかま”を探そう ～“じまんのなかま”はここにいる！～」（23/26）

- 本時のねらい：自分のことや伝えたいことが地域の人や友達などに伝わる楽しさに気付いている。
- キャリア教育のねらい：自分のしたことについて振り返る。（『めざす子どもの姿』やりぬく力）

学習活動	指導上の留意点 ・生活科 ◎キャリア教育
●学習内容をつかむ。	・◎学習の流れを提示する
●本時のめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">つたわるかな？かた地のじまん</div>
●グループで発表し、他のグループや参観者からの感想、質問を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてを確認させる。 ・聞く人は、声の大きさだけでなく、じまんのポイントが入っていたかに気を付けて聞くように声かけする。 ・①良かったところ②質問③感想（アドバイス）の順に発表させる。 ・発表が苦手な児童への支援として、話型カードを提示する。
●本時の振り返りを書く。	・◎各自のめあてを達成できたか、次にかんがりた
●振り返りを交流する。	いことは何かなどの振り返りの視点を伝える。

身近な地域を題材にすることで、学習意欲を高めることができます。



取材場面を劇で再現しています。

キャリア教育との関連

この単元では、子どもたちが、身近な地域に出かけ地域の人々と交流していきます。単元の学習内容を、キャリア教育の視点で見直すことで、子どもたちが、見たい・知りたい・やってみたいことを自分で決定し、実行・評価・改善する力を育むことができます。また、地域の方ともねらいや評価を共有することで、地域ぐるみのキャリア教育を進めることが期待できます。

実践例
楠目小

総合的な学習の時間（4年生）「わたしたちの川～物部川は宝物～」（39/60）

○他教科等とのつながり（文脈学習）に取り組んでいます。

- 本時のねらい：友達の話をしっかり聞いたり、分からないことを尋ねたりして積極的な関わりをもつことができる。
- キャリア教育のねらい：友達との話し合いを振り返り、自分の考えが深まったことに気付くことができる。（『めざす子どもの姿』やりぬく力）

学習活動	指導上の留意点 ・総合的な学習の時間 ◎キャリア教育
●本時のめあてを確認し、学習の流れをつかむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">物部川の「すごい」を語り合おう。</div>
●各グループで紹介したい「すごい」ことを決める。 ・思考ツールを使用し、紹介したいことを練り上げていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに関わってきた人たちの願いや思いなども想起させ、選択の理由になることを確認する。 ・話し合いが苦手な児童も思考ツールを使用することで、話し合いに参加しやすくする。
●各グループで決めた宝物を紹介し合う。 ・課題についても紹介する。 ・質問や助言などをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の判断基準として「物部川は宝物」になっているのか考えさせる。 ・色つきの付箋を使用し、質問なのか助言なのかをはっきりするようにする。
●今日の学習を振り返る。	◎授業の初めと終わりで何がどのように変わったのかを記録できるように声掛けする。

- 教科間のつながり
道徳「じいちゃんが教えてくれたこと」
社会科「くらしを支える水」
- 日常生活との関わり
特別活動「係りを決めよう」
- 過去の学習・教科間のつながり
3年総合的な学習の時間「香美市を探検」
3年国語科「私たちの町の行事をしょうかいしよう」
- 将来の役割とのつながり
4年社会科見学「別府峡料理長さんの話」
5年総合的な学習の時間「米づくり」



物部川で川遊びを体験する子どもたち

キャリア教育との関連

この単元では、子どもたちが、地域に流れる「物部川」について調べていきます。自ら課題を発見する力・情報を活用して課題を解決する力・計画的に取り組む力等の課題対応能力を身に付けることを意図しています。また、「物部川」を教材にすることで、郷土を大切にすることを育むことが期待できます。

キャリア教育の視点を取り入れた授業実践例

実践例 楠目小

国語科（6年生）香美市盛り上げ計画～自分の町の未来についてプレゼンテーションをしよう～「町の幸福論 コミュニティデザインを考える」（7/13）

- 本時のねらい：自分の課題を解決するために複数の本や文章などを比べて読み、必要な情報を選ぶことができる。
- キャリア教育のねらい：友達と協働し、課題を解決するための事例を選択することができる。
（『めざす子どもの姿』やりぬく力）

学習活動	指導上の留意点 ・国語科 ◎キャリア教育
●学習課題を確認する。	提案に合った、最も説得力のある事例を選ぼう。
●集めた情報を整理し、提案に合った情報を選び、理由を考える。	・自分が選んだ事例の資料を提示し、理由を説明させる。
●グループで意見交換をする。	◎友達と協働し、事例を選ばせる。
●選んだ資料を発表する。	・事例を選んだ理由も発表させる。
●本時の振り返りをする。	
●次時の予告	



身に付ける能力を子どもたちが気付く工夫をしています。

キャリア教育との関連

この単元では、自分たちの町の未来について地域の人にプレゼンテーションをしていきます。学習内容をキャリア教育の視点で見直すことで、自分の考えをまとめて正確に伝える力や他者と協力し課題を解決する力の育成を図ることが期待できます。また、町の未来を考えることで、地域の良さを再発見することにもつながります。

実践例 鏡野中

総合的な学習の時間（3年生）「自分の生き方～自分みらいスイッチ・オン！」（58/70）

- 本時のねらい：夢や願いの実現に向けて、実社会での自分の姿を描きながら取り組むことができる。
- キャリア教育のねらい：自分の将来や職業についての課題解決に向けて取り組むことができる。
（『めざす子どもの姿』やりぬく力）



学習活動	指導上の留意点 ・総合的な学習の時間 ◎キャリア教育
●前時の振り返りをする。 ・「みらいスイッチ」の感銘した箇所を再確認する。	・KJ法の活用、分析方法を説明し、活動の見通しをもたせる。
●本時のめあてを確認する。	
●グループ活動 ・共通点を見出す。分析する。	「みらいスイッチ」の入った瞬間を探ろう。
●15年間を振り返り、スイッチが入る瞬間を考え発表する。	◎自分のスイッチが入った瞬間を考えさせる。
●本時の学習を振り返る。	・「みらいスイッチ」について、感じたことを表現させる。
●次時の確認をする。	・未来の自分へ贈るメッセージを考えることを伝える。

「みらいスイッチ」を活用して、自分の将来について考えさせるようにします。



KJ法を使って、共通点を見出したり、分析したりしています。

キャリア教育との関連

この単元では、職場体験やキャリアチャレンジデイの取組を通じて、自分の生き方について探っていきます。職業人講話等の事後指導で、中学生のためのキャリア教育副読本「みらいスイッチ」を活用し、15年後の自分へのメッセージを作成し、自分の将来について考えていきます。

学校の取組事例

実践例 全小学校

キッズチャレンジデイ

小学校では、土曜授業の一環として、キャリア教育の視点を取り入れた体験活動に取り組んでいます。

【香長小】

- ・緊急時引渡し訓練
- ・炊き出し訓練・収穫祭



【片地小】

- ・体験学習（刃物祭り・図書館活動・調理実習）

【楠目小】

- ・楠目夢いっぱいワールド

【舟入小】

- ・わくわく自然教室



【大宮小】

- ・愛あいふれあい祭り

【大柄小】

- ・白髪山みやびの丘に登ろう



【山田小】

- ・山小まつり

実践例 全中学校

キャリアチャレンジデイ

中学校では、土曜授業の一環として市内全中学生が参加して、職業等について考えるキャリア教育プログラムに取り組んでいます。

学習の流れ

事前学習
プログラム
(3時間)

- 各学校での取組
- オリエンテーション
 - インタビュートレーニング
 - インタビュー内容の検討
 - ※教員・企業向け事前研修の実施

キャリア
チャレンジ
デイ
(6時間)

- 会場：高知工科大学
- 中学生全員による一斉授業
 - 企業・個人・団体による職業講話&体験
 - ※生徒は講師にインタビュー



事後学習
プログラム
(2時間)

- 各学校での取組
- 学習の振り返り
 - 自分の現状や将来について、キャリア教育の視点での見つめ直し

3年間キャリア教育に取り組んで・・・

◆子どもたちの変容

- 「キャリア形成に関するアンケート」結果からは、基礎的・汎用的能力の中で、課題対応能力の数値に上昇が見られます。

◆学校の変容

- 各学校では、全体計画や年間指導計画を見直し、授業改善に取り組んでいます。15年間を見通した「めざす子どもの姿」をキャリア教育の授業実践に取り入れ、発達段階に応じた指導に取り組めるようになってきました。

◆地域の教育資源の活用

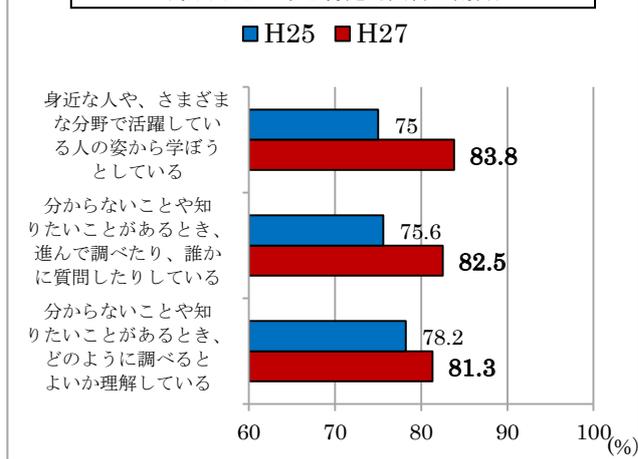
- 「香美市ふるさとプログラム」をもとに、地域の教育資源の活用が進んでいます。具体的な活用方法については、地域の方や関係機関、山田高校、高知工科大学と協力しながら開発に取り組んでいます。キッズチャレンジデイ（小学校）やキャリアチャレンジデイ（中学校）等の取組を通して、地域全体で取り組む体制が構築されてきています。

◆これからの香美市は・・・

- 香美市では、「よってたかって地域が育てる教育」をキャッチフレーズに、キャリア教育に取り組んできました。その結果、学校・家庭・地域が連携した取組を進めることができました。今後は、各中学校区の付けたい力を明確にした指標を作成する等、子どもの実態に応じた取組を進めていきます。これからも、子どもたちに付けたい力を明確にして、PDCA サイクルでキャリア教育を充実させていきます。



キャリア形成に関するアンケート（課題対応能力）
（市内小5～中3肯定的回答の割合）



須崎市の取組

夢や志をもち、自分の未来を切り開いていく子どもを育てるキャリア教育



キャリア教育の概要

地域

学校

家庭

小冊子『須崎のキャリア教育』

須崎市 教育目標
たくましく、心豊かな人づくり
～人・もの・自然にやさしい人づくり～

須崎市 学校教育ビジョン

- ◎ 子どもが楽しいと思う学校
豊かな学力・豊かな心・健やかな体の育成
- ◎ 子どもに尊敬される教職員
教職力の向上・学校の組織力の強化
- ◎ 子どもを支える地域
産・幼・小・中が連携した 地域ぐるみ教育の推進

須崎市 キャリア教育の目標
夢や志を持ち、
自分の未来を切り開いていく子どもを育てる

キャリア教育推進の二本柱

- 体験活動の
高プランニング
- キャリア教育視点での
授業改善

目的育成する能力の
明確化
事前事後指導の充実

学習することの楽しさが
分かる授業
なぜこれを学習するのか
が分かる授業

須崎市 各推進校の取組み
『地域ぐるみ教育』や『わくチャレ』、
指定研究で積み重ねた実績などをとくに、
各推進校の特色を生かした取組みを進める

須崎のキャリア教育
～目標等一覧～

【須崎市のキャリア教育視座】
子どもたちが、社会人・職業人・
地域人として自立していく能力を
育てているか
社会生活に関連する身近なこと
を取り上げながら、子どもたちの
関心・意欲を高めているか

【基礎的・汎用的能力】
○人間関係形成・社会形成能力
○自己理解・自己管理能力
○課題対応能力
○キャリアプランニング能力

【高知のキャリア教育3本柱】
○学力向上
○基本的な生活習慣の確立
○社会性の育成

【なるために・やるために】
将来、社会人・職業人になるための
学習だけでなく、やるために
必要な能力を、授業や行事の中
で育てる。

◆研究推進校

須崎市立安和小学校	須崎市立吾桑小学校	須崎市立上分小学校
須崎市立浦ノ内小学校	須崎市立南小学校	須崎市立多ノ郷小学校
須崎市立須崎小学校	須崎市立新荘小学校	須崎市立朝ヶ丘中学校
須崎市立浦ノ内中学校	須崎市立南中学校	須崎市立須崎中学校

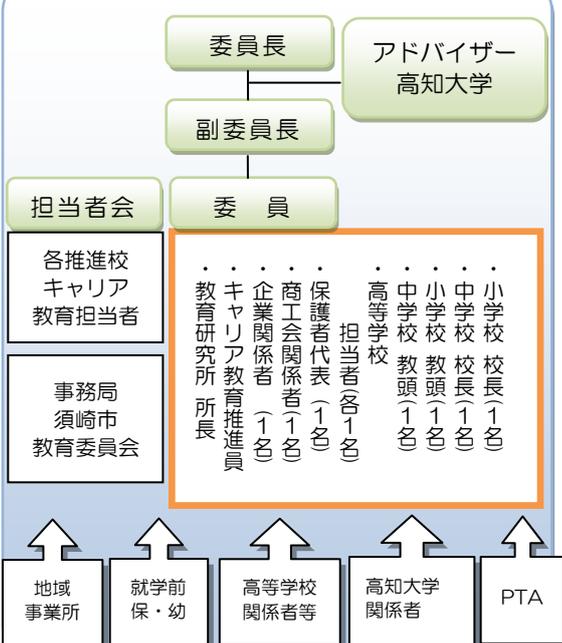
◆須崎市のキャリア教育

- 須崎市では、「夢や志をもち、自分の未来を切り開いていく子どもを育てる」を目標に、先生方が抱くキャリア教育のイメージを揃えて、市全体で同じ目標に向けて実践に取り組んでいます。
- キャリア教育の目標やキャリア教育の視点、取組の概要をまとめた小冊子『須崎のキャリア教育』を全教職員に配付し、校内研修等で活用しながら先生方の共通理解を図っています。
- 実施にあたっては、『体験活動の再プランニング』『キャリア教育視点での授業改善』を推進の二本柱に各学校の特色を生かした取組を進めています。



地域で取り組む推進体制づくりの事例

須崎市キャリア教育地域推進会議



「キャリア教育地域推進会議」と「担当者会」を立ち上げて、キャリア教育を推進しています。

◆キャリア教育地域推進会議を開催しています！

- 地域の方や学校関係者で構成されています。
- 高知大学からアドバイザーを招いて助言をいただいています。
 - ・開催回数 3回(年間)
 - ・協議内容 活動計画の検討
小・中・高・大・地域の連携
わくチャレ(職場体験)の報告等

◆キャリア教育担当者会を開催しています！

- 各校のキャリア教育担当者で構成されています。
- 各学校の実践を共有し、自校の取組に生かしています。
 - ・開催回数 3回(年間)
 - ・協議内容 各校の実践報告
情報交換



キャリア教育の進め方の事例

◆体験活動の再プランニングに取り組んでいます！

職場体験や地域ぐるみの体験活動を行っています。キャリア教育の視点で再プランニングを行い、体験活動の意義を見つめ直しています。

◆須崎市の体験活動

- ・『わくわくチャレンジ in すさき』
中学生：職場体験
小学生：職場体験・農業体験・宿泊通学体験等
- ・各学校の『地域ぐるみの体験活動』
上級生や地域の大人との交流

◆再プランニングの視点

＜体験活動をキャリア教育の視点で見直す＞
目的の明確化（どんな力を身に付けさせるのか）
事前事後指導の充実（体験のみで終わらせない）

◆期待される効果

- ・子ども：自分の能力に気づき、将来の自分をイメージできる
- ・教員：子どもの能力育成の見取りができる



◆キャリア教育の視点で授業を見直しています！

子どもたちの学習意欲を引き出すために、『何のために学んでいるのかが分かる、実生活と関連させた授業づくり』に取り組んでいます。授業にキャリア教育の視点を取り入れることで、『学びの質』の転換を図っています。

◆指導案例

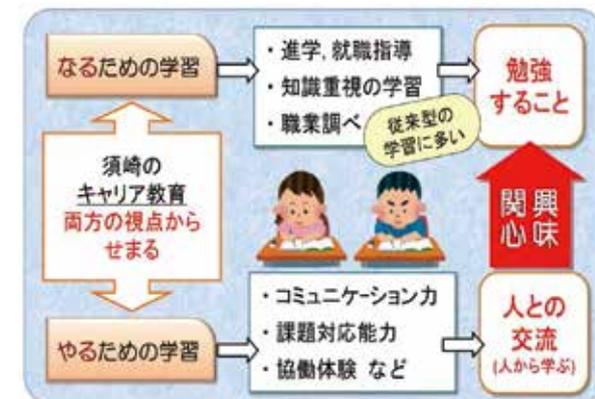
- 単元観・キャリア観
- 単元の指導目標
 - ・教科の指導目標
 - ・キャリア教育視点での付けたい力
- 本時の目標
 - ・教科の目標
 - ・キャリア教育視点での付けたい力
- 本時の展開
 - ・指導上の留意点
 - ・キャリア教育視点の留意事項に☆

共通様式を示し、各校の授業研究で活用しています。教科の目標を第一にキャリア教育の視点を取り入れた授業に取り組んでいます。

実践例＜小学校 算数科＞
○3桁の足し算
買い物をイメージさせた授業は、子どもたちに、学びと生活との関連を考えさせることができます。



キャリア教育の共通理解を進める事例



◆キャリア教育を理解してもらう工夫をしています！

須崎市では「なるために・やるために」というキーワードを使って、キャリア教育の基本的な考え方を、先生方に伝えています。

- 研究実践1年目
各学校の校内研修等でキャリア教育について説明し、共通理解を図りました。
- 研究実践2年目・3年目
須崎市に異動してこられた先生を対象に説明会を開催しました。
- 小冊子『須崎のキャリア教育』に掲載し、常に確認できるようにしています。

「なるために・やるために」・・・

基礎的・汎用的能力や学習に対する内発的動機付けを先生方に分かりやすく伝えるために考えたキーワードです。校内研修等では、左の図を使って、『なるための学習』と『やるための学習』の両方が大切なことを先生方に理解してもらい、教育活動をキャリア教育の視点で見直し、授業改善に取り組んでいます。

キャリアノートの開発・活用事例

須崎市では、子どもたちに『キャリア学習ファイル』を配付し、キャリアノートとして活用しています。(独自のノートを活用している学校もあります。)

◆「キャリア学習ファイル」を全校に配付しています。

- 道徳や総合的な学習の時間・特別活動等で、子どもたちが記録したワークシートをファイルに綴じています。
- 授業で使用するワークシートは、今まで使用していたものを、キャリア教育の視点で見直しています。

◆ファイルする内容例を示しています。

- 各学校が今まで取り組んできたことをベースにしています。
- 既存のワークシートを活用し、改善を図っています。
- キャリア教育の視点を意識して質問項目を見直しています。

キャリア学習ファイル



内容例

- ・〇年生になって
- ・〇学期を振り返って
- ・今年度を振り返って
- ・将来の夢
- ・自分のことを知ろう
- ・クラブ活動・部活動
- ・わくチャレ
- ・修学旅行で考えたこと
- ・文化祭・学習発表会で考えたこと
- ・運動会で考えたこと
- ・体験学習の感想
- ・職業調べ
- ・高校調べ
- ・上級学校調べ
- ・受験に向けて
- ・面接の受け答え
- ・体験入学
- ・中学校説明会
- ・高校説明会

◆キャリア教育の視点でワークシートを見直すポイントを伝えています。

- 例えば、調理師体験活動の振り返りに「今日の感想を書きましょう」では、「おいしかった。またやりたい。」などの感想が多くなります。
- そこで、「働くことについてどんなことを考えましたか」「自分の将来に向けて、今できることは何か」等の設問を入れることで、子どもたちは、現在や将来の自分について考えるようになります。

活用例 多ノ郷小

多ノ郷小では、授業や体験活動後のワークシート等を『キャリア学習ファイル』に綴じています。



多ノ郷小では、学年、学期の目標やめあての振り返りシートや学校行事・体験活動、授業などのワークシートをキャリア教育の視点で見直しています。

活用例 吾桑小

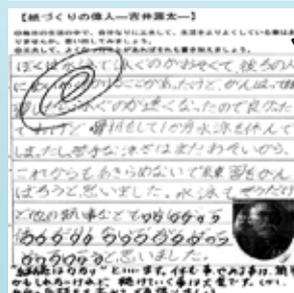
吾桑小では、『吾桑ノート』と『キャリア学習ファイル』を併用して活用しています。授業でのワークシート等を1年生からノートに記録し、卒業時には家庭へ渡しています。

吾桑ノート



行事終了後の感想・地域の方への手紙・道徳のワークシート等をノートに貼っています。保護者に見てもらい、子どもたちへのメッセージを書いてもらっています。

紙作りの偉人吉井源太



【設問の工夫例】

- ◎毎日の生活の中で、自分なりに工夫して、生活をよりよくしていることはありませんか。思い出してみましよう。
- ◎工夫して、よくなったことがあればそれも書きましよう。

学校・地域・行政が連携した実践例

実践例
須崎市・全中学校

◆須崎市PR曲『すさきがすきさ』の作成と活用

須崎市では、学校・地域・行政が協力して、子どもたちが主体的に活動できる場を設定しています。須崎市PR曲『すさきがすきさ』は、「須崎を元気にしたい」という子どもたちの願いをかなえるために、生徒・学校・地域・行政が協力してつくりあげました。



◆きっかけは、須崎市子ども議会から・・・

- 平成25年7月、市内全小中学校の代表が須崎市本会議場に集い、須崎市子ども議会が開催されました。
- 議長は中学生が務め、子ども議員たちは、市長・教育長・全課の課長に向き合い、本会議さながらの質疑が行なわれました。
- 須崎中学校からは、中学生と大人が一緒になって須崎市の将来について話し合う「井戸端会議」の提案がなされました。



◆「すさきがすきさ」は井戸端会議から・・・

- 井戸端会議には、須崎中学校から、生徒会役員と2年生の代表が参加し、市長・教育長・市職員・商店街代表の方と意見交換を行いました。
- 意見交換で出されたアイデアの一つとして、須崎市のPR曲づくりが提案され、これを受けて、須崎中学校の生徒会が中心となり、PR曲づくりがスタートしました。



◆須崎中学校生徒会PR曲作成活動スタート！

- 須崎中学校生徒会メンバーは、PR曲の完成に向けて「須崎市の魅力を一行詩に書いてみよう！」と呼びかけ、須崎中学校全生徒から集まった一行詩をもとに作詞に取り組んでいきます。
- 歌詞を完成させた生徒たちは、高知県出身の織田哲郎さんに作曲をお願いしようと考え、自分達の思いを綴った手紙を送りました。生徒達の熱意は織田哲郎さんに伝わり、須崎市PR曲『すさきがすきさ』が完成しました。



◆活動は、須崎中から市内全中学校へ・・・

- PR曲の完成を知った、朝ヶ丘中学校生徒会から「市内全校で、このPR曲の完成記念式典をしたい」という提案が寄せられ、活動は市内全中学校へと広がっていきました。
- 平成26年9月、市内全中学校の生徒代表による「須崎市PR曲完成記念式典を企画・運営するための実行委員会」がスタートし、生徒会共同宣言、チラシ・ポスターの作成、大会運営等、生徒たちの手によって決められていきました。
- 生徒たちは、「ご当地キャラ祭り」等を活用しポストカードの販売も行っています。その収益は、大会運営資金として須崎市に寄付されました。



◆須崎のまちを元気に・・・

- 平成26年11月29日、市内全中学校生徒が集い、「～須崎の風を全国へ～」をスローガンに、完成記念式典が開幕します。式典は生徒が全て運営し、各中学校の地域紹介のプレゼンや織田哲郎さんのビデオメッセージ等、実行委員会の企画に基づいて進行していきます。式典の最後には、須崎市への思いを込めた「生徒会共同宣言」を発表し、式典は終了しました。
- 今回の生徒会の活動は、新しい生徒会にも引き継がれ、須崎を元気にする取組は今も続けられています。



キャリア教育との関連

この取組は、生徒・学校・地域・行政が協力した実践例です。子どもたちは、子ども議会や井戸端会議等の活動を通し、大人たちに自分の考えを伝えていきます。大人たちは、子どもたちの意見を受けて、活動の場を提供していきます。また、1中学校の取組が他の中学校に広がり、市内全中学校の取組へと発展していきます。取組は、子どもたちの社会的・職業的自立に必要な能力の育成に加えて、地域のことを見つめ直す機会となっています。

キャリア教育の視点を取り入れた授業実践例

実践例
上分小

社会科（3年生）「農家の仕事」（9/10）

- 本時のねらい：シシトウ農家の人の努力や工夫、地域とのつながり、地域の農業のあり方についての農家の人の願いを理解する。
- キャリア教育のねらい：相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝える。上分地区の農家の方の地域に対する思いについて理解し、自分の将来とのつながりについて考える。（人間関係形成・社会形成能力、キャリアプランニング能力）

学習活動	指導上の留意点 ・社会科 ◎キャリア教育
●本時の流れを知る	・ホワイトボードで授業の流れを確認する。
●シシトウハウス見学のとめを発表する。	◎友だちに分かるように工夫して、調べたことを発表させる。
●学習テーマを確認する。	青木さんはどうしてシシトウづくりを続けているのか考えてみよう！
●考える・話し合う。	・ペアで相談させたあと全体で話し合わせる。 ◎青木さんが上分で頑張っている理由を考えさせる。
●青木さんのメッセージを紹介する。	
●青木さんのメッセージから思ったことを発表する。	◎自分が住む上分のことに結び付けて発表させる。
●まとめる	

地域の方を取り上げることで、地域とのつながりを意識させます。



キャリア教育との関連

この単元では、地域の生産について農家の仕事を題材に学習していきます。そして、相手の意見を聞いたり、自分の考えを正確に伝える人間関係形成・社会形成能力の育成を意図しています。また、地域の農家の方の働くことへの思いに触れることで、キャリアプランニング能力の育成も期待できます。

実践例
浦ノ内中

外国語科（3年生）「Unit 5 Electronic Dictionaries—For or Against」（7/8）

- 本時のねらい：友達の様々な意見を読み、「英語を勉強する意味」について自分の考えや意見とその理由を深めて書くことができる。
- キャリア教育のねらい：学ぶことの意義について考えることで、学校で学んでいることと、自分の将来とのつながりについて考えることができる。（キャリアプランニング能力）

学習活動	指導上の留意点 ・外国語科 ◎キャリア教育
●学習とゴールの確認	・目標を明確にし、見通しをもたせる。
●ウォームアップ	
●テーマの確認	
I think that we don't have to study English. Why should students study English? 英語をなぜ勉強するのでしょうか。	
●ワークシートを読み合う。	・友達がなぜそう思うのかを読み取る。
●自分の文を推敲する。	・自分の主張とその理由が書けている。
●友達と文を推敲し合う。	・一文一文が正しく書け、つなぎ言葉等を使って、つながりのある文が書けている。 ◎学ぶことと自分の将来とのつながりについて考えさせる。
●発表	
●振り返り	

「英語を勉強する意味」を考えさせることで、学びと将来をつなぐことができます。



キャリア教育との関連

この単元は、インターネット上の意見交換を題材に学習していきます。教科書の内容を生かして「なぜ英語を勉強するのか」ということを考えることで、学ぶ意義や、現在の学びが将来にどのようにつながっていくのかを考えさせることができます。

実践例
上分中

学級活動（2年生）「適性発見」向いているのはどんな人？

- 本時のねらい：自分の考えを発表し、グループで話合ったりまとめたりすることを通して、職業に求められる適性について理解し、今後の学校生活で大切にしたいことを考える。
- キャリア教育のねらい：職業的自立に向け、必要な適性について考える。



学習活動	指導上の留意点 ・学級活動 ◎キャリア教育
●本時のねらいを確認する。	・みらいスイッチの中で興味がある職業を考えさせる。
みらいスイッチの5種類の仕事には、それぞれどのような適性が必要か考えよう。	
●5種類の仕事に必要な適性について個人で考える。 ●グループで話し合い、分類する。 ●5種類の仕事に必要な適性について話し合う。	・働くために大切なことを、職場体験学習での気づきと関連させる。 ・職場体験学習と学習が自分の夢につながっていることに気付かせる。
●振り返り ●次時の予告	◎自分自身を振り返り、今後、学校生活で大切にしたいことを自己決定させる。

職場体験学習や学習と関連付け、学習意欲を高める工夫をしてみましょう。

学習したことをもとに、何をどのように努力したらよいのか具体的に自己決定できるようにしましょう。

キャリア教育との関連

この単元では、進路適性について考えていきます。事前指導で、「みらいスイッチ」を活用した職業分類を行い、事後指導では、自分の特徴について考え、将来に向けてすべきことについて考えます。学習を通して、キャリアプランニング能力を向上させることが期待できます。

3年間キャリア教育に取り組んで・・・

◆子どもたちの変容

- 「キャリア形成に関するアンケート」の中1から中3の経年変化の結果から、基礎的・汎用的能力の各項目に上昇が見られます。
- 教科の学習に対する内発的動機付けについては、国語、算数（数学）ともに、肯定的回答の数値に上昇が見られます。
- H27 全国学力・学習状況調査結果から、中3の国語・数学の平均正答率も上昇しています。

◆学校の変容

- 3年間の取組を通じて、先生方のキャリア教育への理解も深まってきました。各学校では、指導計画を見直し、キャリア教育の視点を取り入れた授業実践や学校の特色を生かしたキャリア教育が充実してきました。

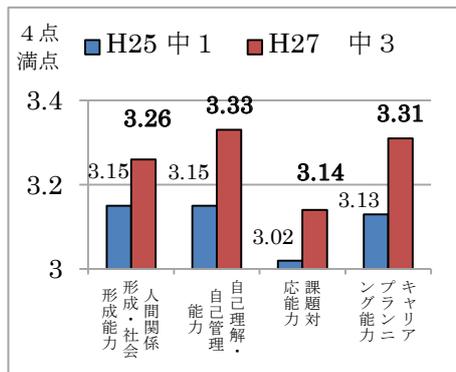
◆自立心を育む取組の増加

- 須崎市の各学校では、子どもたちの主体性を大切にする取組が増加してきています。各学校で行なわれている体験活動を見直し、子どもたちの意見や考えを活動に生かすことで、子どもたちの自立心を育み、社会的自立につながっていきます。

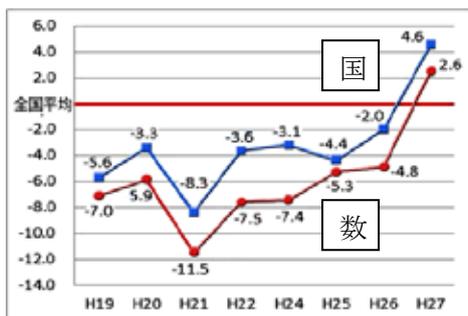
◆これからの須崎市は・・・

- 須崎市には「地域を活性化したい」という熱い思いをもった子どもたちや地域の大人たちがたくさんいます。これからも、学校・地域が連携し、子どもたちの自立につながる取組をさらに深化・発展させ、子どもたちが夢や志をもち、未来を切り開いていけるように、キャリア教育を推進していきます。

キャリア形成に関するアンケート
(市内中1→中3経年変化)



全国・学力学習状況調査
須崎市中3国・数平均正答率推移

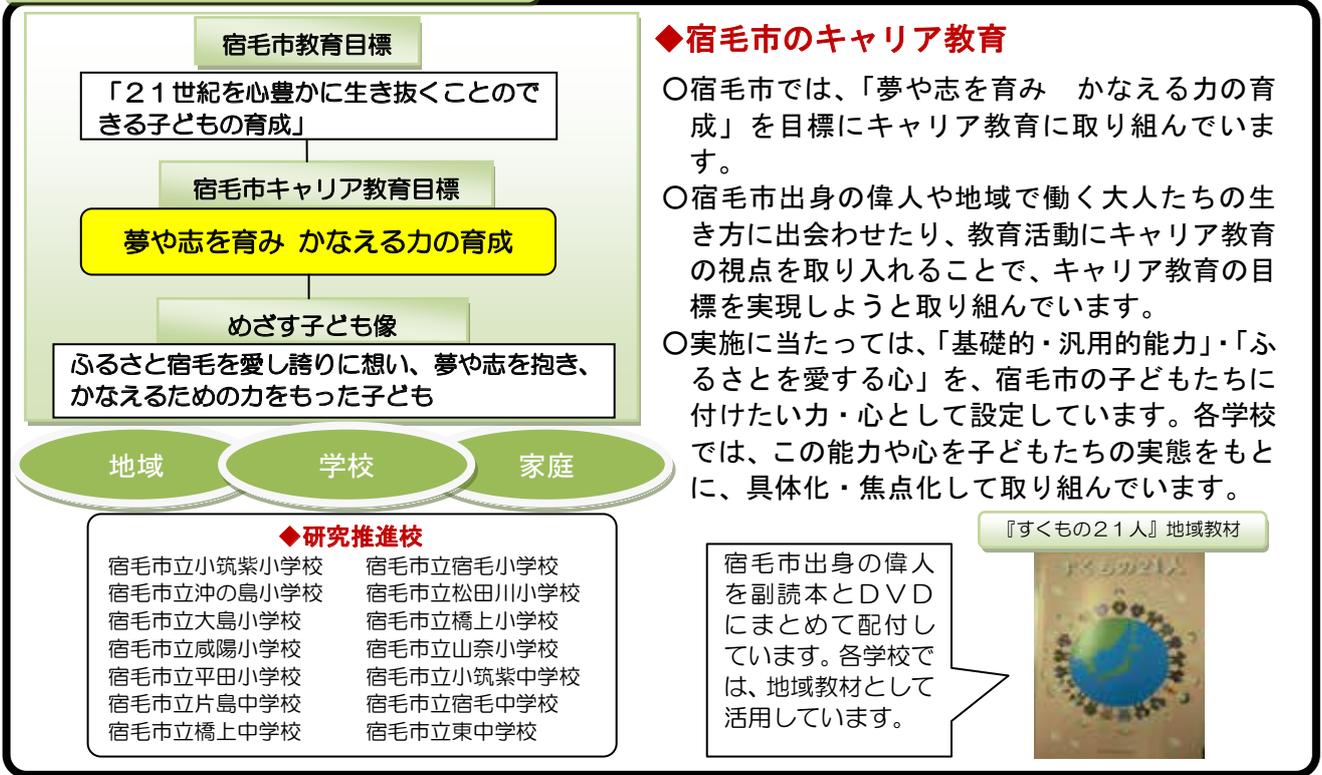


宿毛市の取組

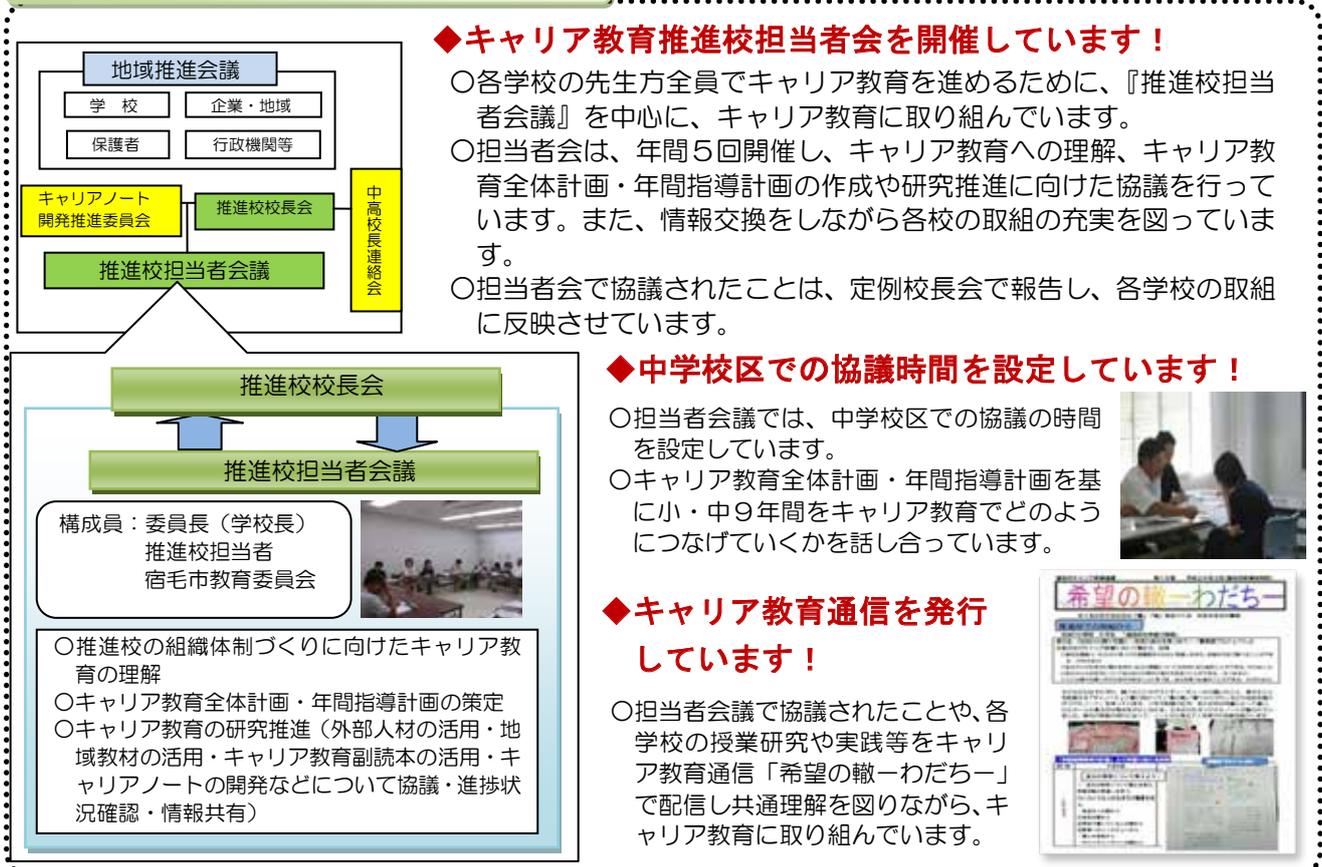
夢や志を育み かなえる力の育成を図るキャリア教育



キャリア教育の概要



地域で取り組む推進体制づくりの事例



キャリア教育の進め方の事例

地域の取組

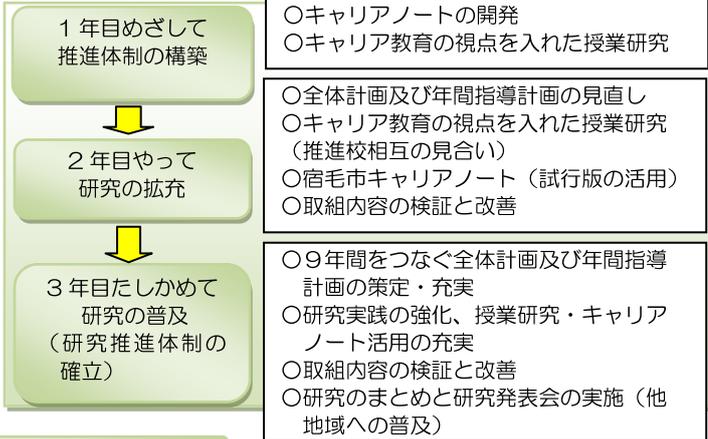
1 基本方針をつくらう！

○地域でキャリア教育を進めるために必要な方針を最初に決めて取組を進めています。

- 子どもたちの実態を把握し、どんな力を付けるのかを焦点化する。
- 各学校が共通して取り組むことと、各学校の特色を生かして取り組むことを整理する。
- 各学校で推進体制づくりを進める。
- 指導計画の充実・全教職員のキャリア教育の理解を図る。
- 各学校の取組は、情報発信しながら共有し、取組に生かす。

2 研究推進計画をつくらう！

○キャリア教育を各学校の教育活動に根ざしていくものにするために、「みんなでやる」ことを意識して具体的な計画を立てて取り組んでいます。



3 到達目標・評価指標を設定しよう！

○年度ごとに到達目標と評価指標を設定し、研究に取り組んでいます。

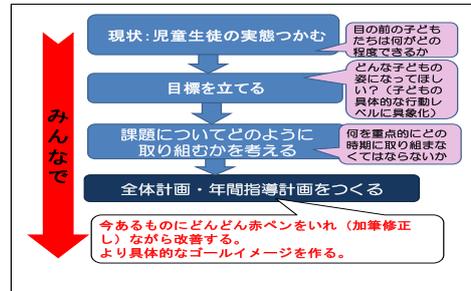
研究到達目標例

到達目標	評価指標
9年間をつなぐキャリア教育全体計画・年間指導計画が作成され、各推進校で教職員の共通理解が深まり、育てたい子どもの姿のゴールイメージをもった取組ができる。	○キャリア教育全体計画・年間指導計画が作成されている 100% ○教職員を対象としたキャリア教育に関わるアンケート（宿毛市版）関連項目 肯定的回答 90%以上

学校の取組

4 計画を充実させよう！

○研究1年目は、全体計画・年間指導計画を教職員の共通理解を図るツールとして活用し、全員で見直し、洗い出しを行いました。
○2年目からは、年間指導計画にキャリアノートの活用を位置付け、振り返りをさせる場面を具体化しました。このことにより、子どもたちに身に付けさせる能力を教員が意識するようになり、授業や活動の場面で活かせる具体的な計画になっています。



5 授業研究を充実させよう！

○各校で公開授業を行い、相互に見合いながら「キャリア教育の視点を取り入れた授業」について研究を進めています。
○平成26年度は、「本時の学び」と実生活や将来をつなぐ工夫や教科の目標を達成するための授業構成の改善を図りました。
○平成27年度には、小・中をつながりや教科でのキャリア教育の視点について協議を深めています。
○授業では、キャリアノートを活用し、子どもたちに「身に付ける力」について考えさせるようにしています。このことは、子どもたちの学習意欲を高めるとともに、教員の授業改善につながっています。

キャリア教育の視点を入れた授業

各推進校1回以上、宿毛市内小中学校を対象として授業公開を行いながら、具体的なイメージをつかむとともに、授業研究を充実させる。（26・27年度）

授業公開：36回・40学級
 参観者数：べ695名（うち 公開校以外より308名）
 研究協議への公開校以外からの参加者数：67名（27年度のみ）

①学習意欲・目的意識につなげる
 教室内の学びと実生活、将来の社会を結びつける

②指導内容とつなげる
 ・教科・領域の指導内容と「基礎的・汎用的能力」との関連を図る
 教科・領域の目標をより豊かに達成するために、単元のどの時間にどのような能力を？
 ・学習の方法を通して「基礎的・汎用的能力」の育成を図る

どう教師が意識するか

宿毛市

キャリアノートの開発・活用事例

宿毛市では、自分自身の学びや活動を「振り返る」ことを継続的に行うことで、社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度、ふるさとを愛する心を子どもたち自身が自覚することを目的として、キャリアノートを活用しています。

1 振り返りをさせる場面を設定しよう！

- 各校で、「キャリア教育で培いたい能力・態度(例)(※A)」を参考に、身に付けたい力・能力を決定します。
- 教員は、キャリア教育全体計画に基づいて、各学年の年間指導計画を作成します。
- 年間指導計画にある各教科・領域を中心に振り返りをさせる内容・場面を決めます。

2 オリエンテーションをしよう！

- 年度当初に子どもたちにオリエンテーションを行います。ここでは、各学年の「身に付けたい力」について、自校の「キャリア教育で培いたい能力・態度」をもとに、記入の仕方を学びます。

3 『振り返りカード』に記入しよう！

- 小学校低学年は、「がくしゅうふりかえりひょう(※B)」に○を記入し、発達段階に応じた振り返りを行っています。
- 小学校中学年からは、自校の「キャリア教育で培いたい能力・態度」を参考に、自分に身に付いた力を振り返り、「振り返りカード(※C)」に記入します。

4 『能力別シート』に貼ろう！

- 「振り返りカード」は、「能力別シート(※D)」に貼り、能力別に付けたい力の変化を見とれるようにします。そうすることで、子どもたちの意識も高まっていきます。

5 『学習振り返り表』に記入しよう！

- 「学習振り返り表(※E)」には、教科名や学習内容を記入し、身に付いた力の欄に○を記入していきます。そうすることで、自分自身にどのような力が身に付いているのかを総合的に判断することができます。
- 年度の終わりには、「1年間のまとめシート」に記入し、次年度につなげています。

子どもたちのキャリアノートから



みつめる力(自己理解・自己管理能力)
私は、みつめる力がついたと思います。いろいろな図をかいてわかりやすくなりました。前の(席)の人と相談し合っ、相手の話を聞き、自分と比べながらしっかり聞けました。また、自分の思いも相手に伝わったと私は思います。(小5)

A キャリア教育で培いたい能力・態度(例)

宿毛市で作成し、各学校の実態や目標に合わせて修正しています。

学年	教科	領域	能力・態度
1	国語	読書	読書が好きになること、読書から学ぶことができるようになること。
2	算数	計算	計算が得意になること、計算の楽しさを感じるようになること。
3	社会	コミュニケーション	友達と協力して学習や活動ができるようになること。
4	総合	探究学習	自分の興味・関心に基づいて学習や活動ができるようになること。
5	英語	外国語	英語を好きになること、英語でコミュニケーションができるようになること。

B がくしゅうふりかえりひょう ※一部抜粋

めくちから	かたをやり	・しぶんでやらずにはいけないことをみつけることができる。	
		・わからないことは、せんせいやいえのひととまことにきくことができる	
		・しりたいことはほんやすかんでさがすことができる	
		・つたえたいことをぶんにかくことができる	○

C 振り返りカード ※一部抜粋

中学年	<p>【キャリア発達課題】</p> <p>①友だちと協力して活動する中でかかわりを深める。</p> <p>②自分の持ち味を発揮し、役割を自覚する。</p>	<p>【振り返りカード】</p> <p>【自分の振り返り】</p> <p>【友だちの振り返り】</p> <p>【先生(先生)の振り返り】</p>
大いかわる	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」「ごめんなさい」がいえる。 ・自分の意見や話を分かりやすく話すことができる。 ・友だちと自分のよいところをみとめることができる。 ・友だちと協力して学習や活動をすることができる。 ・学習や家で、自分ができるとを、せきにんをもってできる。 	

D ⑤ふるさとを愛する心(郷土愛) ④かなえる力(キャリアプランニング能力) ③やりぬく力(課題対応能力) ②みつめる力(自己理解・自己管理能力) ①かかわる力(人間関係形成・社会形成能力)

振り返りカード	能力別シート
---------	--------

E 学習振り返り表 ※一部抜粋

月日	教科名	学習内容(学習)	①かかわる力	②みつめる力	③やりぬく力	④かなえる力	⑤郷土愛

子どもたち自身が、自分に身に付いた力の自覚ができるノートにします。

今年一年間で、特に「みつめる力」が伸びたんじゃないかと思う。健康な生活を送るために生活態度をコントロールして生活することができるようになったと思う。教科で学習したことを生活に結び付け、生かすこともできるようになったと思う。「かかわる力」では、あいさつや返事などコミュニケーションを大切にして生活することができていると思う。そして、内容を整理して筋道を立ててまとめることもできた。「かなえる力」では、体育祭の組体操などで、集団の中の自分の役割を考えて行動することができた。来年度は、今年度であまり伸びなかった「やりぬく力」を付けたいと思う。(中2)

キャリア教育の視点を取り入れた授業実践例



実践例
宿毛小

社会科（５年生）「くらしを支える情報」（１１／１２）

- 本時のねらい：情報化が進んだ社会の中で、情報を生かしていくために大切なことや自分が気を付けるべきことを考えることができる。
- キャリア教育のねらい：情報の発信者・受信者として、自分はどのようなことに気を付けて生活していくかを考えることができる。（みつめる力：自己理解・自己管理能力）

学習活動	指導上の留意点 ・社会科 ◎キャリア教育
●前時までの学習を振り返る。	これから自分たちは情報とどのようにかわっていったらいいかを考えよう。
●本時の課題を知る。 ●情報の受信・発信の際、どのようなことに気を付ければいいかについて話し合う。 ●情報を活用する上で大切にすることを考え、発表する。	・これまでの学習や経験をもとに、情報をやりとりする上で困ったことや不安なことを想起しながら考えさせる。 ◎情報の発信者・受信者として、自分たちはどのようなことに気を付けて生活していくかを考えさせる。
●まとめをする。 ●振り返りをする。	・情報を正しく判断し、ルールやマナーを守ることが必要であることなどに気付かせる。

実社会の事例を取り上げ、学習と生活とのつながりを意識させます。



キャリア教育との関連

この単元では、情報産業や情報化した社会について調べます。地域の情報ネットワークを利用した防災システムを教材として取り上げることで、実社会とのつながりを意識させることができます。また、情報の取扱いについて、自分の生活を振り返って考えることで、メディアリテラシーも育成することができます。

実践例
宿毛小

国語科（６年生）「将来の夢や生き方について考えよう」（５／８）

- 本時のねらい：３人の思いや考えを踏まえ、仕事についての自分の考えをもつことができる。
- キャリア教育のねらい：仕事についての自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。（みつめる力：自己理解・自己管理能力）

学習活動	指導上の留意点 ・国語科 ◎キャリア教育
●前時までの学習を想起する。	・３人のプロフェッショナルたちを確認する。
●本時の課題を知る。	仕事について、自分の考えをもとう。
●３人のプロフェッショナルたちが、大切にしていたものについて考える。 ●自分だったら、何を大切にしたいかを考える。 ・自分の考えをまとめる ・伝え合う	・前時までにまとめた表を掲示し、３人のプロフェッショナルたちがどのようにして、困難を乗り越えたかを想起させる。 ・なぜ、大切にしたいと思ったのか、理由も書かせる。 ◎仕事についての自分の考えを広げ、深めさせる。
●本時の振り返りをする。	・仕事について考えたことや、友達のことを聞いたことを振り返り、感想を書く。



グループになって、自分の意見を伝えたり、まとめている様子です。

キャリア教育との関連

この単元は、実社会で活躍している人々の働き方や生き方についての文章を読み、自分の将来について考え、多面的なものの見方や考えを深めることを意図しています。また、単元の学習と並行して、職業関連の図書や新聞記事について、自分の考えをまとめる帯タイムを設けることで、実生活とのつながりを深めさせることができます。

キャリア教育の視点を取り入れた授業実践例



実践例
宿毛中

数学科（1年生）「比例と反比例」（18/19）

- 本時のねらい：比例や反比例を問題の解決に活用することができる。
- キャリア教育のねらい：実生活の事象のなかにある二数の関係を理想化したり単純化したりして、課題を解決することができる。（やりぬく力：課題対応能力）

学習活動	指導上の留意点 ・数学科 ◎キャリア教育
<ul style="list-style-type: none"> ●前時を振り返る。 ●本時の課題を把握する。 	<p>淡路島まで高速道路を使って旅行に行きます。土佐 IC を 10:40 に通過した時、どの PA、SA で休憩してお昼ご飯を食べるのがよいでしょうか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●時間と道のりの関係を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐 IC からの通過時間と距離の関係を表した図を提示し、関係を考えさせる。 <p>お昼ご飯の場所を比例の考え方を利用して考えよう。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●個人で課題に取り組む。 ●考えをまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ◎実生活の事象の中にある二数の関係を理想化したり単純化したりして、課題を解決させる。 ・問題解決のために用いた方法を明らかにして、自分の考えを伝え合うようにさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ●学習したことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例や反比例を活用して問題を解決したことで分かったことについて振り返らせる。

日常生活とつながっていることを子どもたちに発見させることで、学習意欲の向上が期待できます。



キャリア教育との関連

この単元では、関数関係の意味を理解していきます。単元の学習内容をキャリア教育の視点で見直すことで、学習内容と実社会をつなげ、関数が日常生活の諸問題の解決に役立っていることを理解させることができ、子どもたちの学習意欲を高める効果が期待できます。

実践例
宿毛中

理科（2年生）「電流とその利用」（5/5）

- 本時のねらい：電力と電力量の違いを生活と結び付けて考え、適切に表現することができる。
- キャリア教育のねらい：消費電力についての学習内容が日常生活と関連していることの認識を深め、学習した知識を自らの生活に生かそうとすることができる。（かなえる力：キャリアプランニング能力）

学習活動	指導上の留意点 ・理科 ◎キャリア教育
<ul style="list-style-type: none"> ●前時を振り返る。 ●電気料金明細書を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気料金明細からWh・Wsの単位を見付け出させ、意味をおさえる。
<ul style="list-style-type: none"> ●本時のめあてを提示する。 	<p>電力量とはどういうものだろうか。「電力」と「時間」に着目して考えてみよう。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●家電製品の電力量を計算する。 ●計算結果をまとめ発表する。 ●昔の家電製品の電力量を計算する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに計算させる。 ・消費電力が少なくても使用時間が長ければ電力量は多くなることを見出させる。 ◎家電製品の比較から、学習したことが実生活に役立っていることに気付かせる。
<ul style="list-style-type: none"> ●本時のまとめをする。 ●学習したことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎本時の学習を通して、今後の生活と関連付けて記述させる。

導入教材に身近なものを使用することで、学習内容と生活がつながります。



キャリア教育との関連

この単元は、電流と電圧との関係や電流の働きについて理解し、日常生活や社会と関連付けて、見方や考え方を養うことを意図しています。生活や社会との関連について意識させることで、学ぶことの意義について考えさせることができます。また、節電や省エネルギーなどの問題についても意識させることができます。

**実践例
片島中**

学級活動（2年生）「友達から見た自分を知らう」

- 本時のねらい：体育祭、文化祭を通し、自分の成長した部分、友達の成長した部分を素直に認め合い伝え合うことで、今後の学校生活に意欲的に取り組む態度を育てる。
- キャリア教育のねらい：自分を見つめ、課題を解決しながら、よりよく生きようとする。（みつめる力：自己理解・自己管理能力）

学習活動	指導上の留意点 ・学級活動 ◎キャリア教育
<ul style="list-style-type: none"> ●前時を振り返る。 ●本時のめあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みらいスイッチ」の「キラリ！発見カード」の記入を想起させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">友だちから見た自分を知らう。</div>
<ul style="list-style-type: none"> ●班の友達の良い面を、「キラリ！発見カード」に記入し、班内で話し合う。 ●友だちが見付けてくれた自分の良さをさらに伸ばしていくためにはどうしたらいいかを話し合う。 ●自分の良さを生かして、今後の生活の目標を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な生活の場を想起させる。 ・「キラリ！発見カード」を比較させる。 ・伝え合うことの大切さに気付かせる。 <p>◎自分の良さを見出して、今後の生活にどう生かしていくかを考えさせる。</p>
●本時のまとめ	



学習したことをもとに、何をどのように努力したらよいか具体的に自己決定できるようにしましょう。

キャリア教育との関連

この単元では、みらいスイッチを活用し、自分を見つめる活動を行っていきます。事後指導では、本時で自己決定した内容について生活の中で実践した後、アンケートを行い、振り返る活動を取り入れています。学習を通して、自己理解・自己管理能力を向上させることが期待できます。

3年間キャリア教育に取り組んで・・・

◆子どもたちの変容

- 「キャリア形成に関するアンケート」結果からは、基礎的・汎用的能力の各項目に上昇が見られます。
- 教科の学習に対する内発的動機については、国語、算数（数学）ともに、肯定的回答の数値の上昇が見られ、中学校の学力調査結果も上昇傾向にあります。

◆学校の変容

- 宿毛市が独自に実施している教職員アンケート結果からは、キャリアノートの活用が、子どもたちに身に付けさせたい能力の向上に効果があることが分かります。また、キャリア教育の授業イメージや、実効性のある計画・キャリア教育の共通理解等の数値が上昇しています。
- 市全体で取り組むことによって、各学校に全教職員で取り組む体制が整備されます。また、「付けたい力」を共通理解し、指導計画を全教職員で作成すると、キャリア教育の視点を、日々の教育活動で意識するようになります。

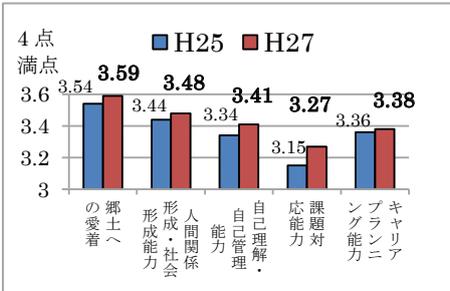
◆地域連携の変容

- 校内ハローワーク（職業人講話）で、ねらいや身に付けさせたい力や話す内容を地域の方と共有しています。また、キャリア教育通信・学校通信・宿毛市広報等を通じた情報発信を行っています。そうすることで、「宿毛市のキャリア教育」への地域や保護者の関心も高まっています。

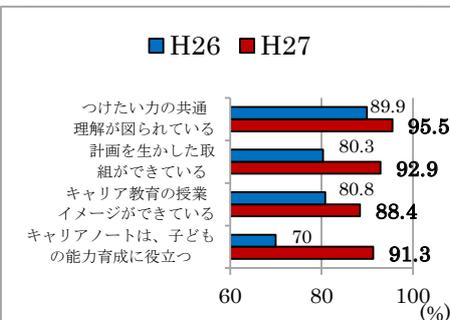
◆これからの宿毛市は・・・

- キャリア形成に関するアンケート結果から、自尊感情に課題が見られます。今後は、子どもたちの自尊感情を高めることに取り組んでいきます。小・中9年間を見通して身に付けさせたい力をより明確にして、地域や保護者と共有し、つながりをさらに強め、宿毛市のキャリア教育を充実させていきます。

キャリア形成に関するアンケート
(市内小5～中3平均値)



キャリア教育に関するアンケート
(宿毛市教職員：肯定的回答の割合)



進めよう！高知のキャリア教育 Part3 実践事例編

発行：平成28年3月 高知県教育委員会

編集：高知県教育委員会事務局小中学校課